

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
生物多様性の相補性に基づく堤内地氾濫原水域の保全・再生優先度評価手法の開発 (研究期間：H27年～H29年)	北海道大学 根岸 淳二郎	B
<研究概要> <p>河川の氾濫原水域は最も生物多様性の高い生態系の一つであり、多種の生物にとって貴重な生息場であるが、世界各地で水域の分断化や周辺土地利用による水質劣化等、自然環境の劣化が報告されており、適切な管理が喫緊の課題である。本研究は、石狩川氾濫原水域の保全・再生に寄与するため、種・遺伝子レベルの生物多様性の相補性（地域全体の視点からの相対的重要度）の観点から、管理優先度の評価手法を開発するものである。</p>		
<事後評価コメント> <p>氾濫原水域の生物の保全・再生優先度を評価する上で、生物多様性に関する調査、解析が的確になされ、研究目的を概ね達成する一定の成果が得られたと言える。今後は、他の氾濫原への適用性についても研究を進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い